

||||| 投稿規定(2004年9月改定) |||||

I. 投稿について

1. 投稿資格：日本臨床検査医学会会員に限る(筆頭者は会員，連名者は会員もしくは臨時会費納入者とする)。
2. 論文の内容：臨床検査医学(臨床病理学)に関するもので，未発表のものに限る。臨床研究に関する論文はヘルシンキ宣言に沿ったものであること。
3. 投稿原稿は和文または英文原稿とする。
4. 論文の区分：原著，短報，総説，症例，技術，経験の別を明記する。最終的な区分は編集委員会で決める。
5. カテゴリー：投稿に際しては別表 1 のカテゴリー区分に従い，投稿添付用紙にカテゴリー番号等を明記すること。
6. 論文の長さの制限：原則として右表による。規定枚数を超過したものには編集委員会の承認を要し，超過分の実費は著者の負担とする。
7. 投稿の際の注意：①下記の「執筆の指針」に従うこと。②論文への関与の証明のためすべての著者は投稿原稿添付用紙の著者名欄に自署捺印する。

原稿枚数	原著	短報	総説	症例・技術	経験
和文 (図表)	10~12 (5)	4~5 (図表含)	20 (5)	8 (3)	8 (3)
英文 (図表)	7 (5)	4 (図表含)	15 (5)	5 (3)	5 (3)
組み上がり 頁数	5	2	10	4	4

8. 掲載された論文の著作権はすべて日本臨床検査医学会に帰属する。
9. 採否の決定：査読を経て編集委員会が行う。
10. 別冊：30部まで無料，それ以上は有料。
11. 原稿の送付先：
〒101-0064
東京都千代田区猿樂町 1-7-1 高橋ビル 5F
日本臨床検査医学会
TEL 03-3295-0351 FAX 03-3295-0352

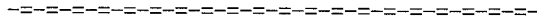
II. 執筆の指針

1. 原稿は全て A4 判横書きとし，原則としてパソコンまたはワープロで作成する。和文原稿は 1 頁当たり 400 字(20 行×20 字)とし，英文原稿はダブルスペースで，1 枚 26 行，1 行は語間を含め 60 字を目安とする。
2. 原稿の提出にあたっては，プリントアウトした原稿 2 部を送付。掲載が決定した論文は使用 OS および使用ソフト名を明記した電子媒体を提出すること。
3. 論文の構成：表題，著者名，所属，所在地，英文抄録，キーワード，および本文とする。本文は，緒言，方法と試料(または材料)，結果，考察，結論，文献とし，図表を付ける。
4. 表題は内容を簡潔，的確に明示するものとし略語はなるべく用いない。
5. 英文抄録は，250 語以内で目的，方法，成績，結論を具体的に示す。
6. キーワードは 5 語以内とし，英語と日本語を併記(英文論文の場合は英語のみ)。Index Medicus など用いている用語が望ましい。例：anemia(貧血)
7. 本文の内容について：
 - a. 緒言は簡潔に，研究の意義・位置付け・目的を明らかにする。
 - b. 方法および試料(または材料)は追試ができるように記載する。①特にキットなどを用いた場合，他に記載のないときは試薬の組成を明らかにするよう心掛ける。②他の文献から引用する場合には，方法に著しい条件の変更がない限り文献の引用にとどめる。③自動分析機などで分析した場合には設定条件を記載する。④材料が該論文に重要な関連をもつ場合には，その由来・入手方法を記載する(参考資料 臨床病理 50 巻 5 号 438 頁)。
 - c. 症例を呈示する場合，関連のある必要な検査所見を記載する。
 - d. 結果はできるだけ箇条書きとし，定量的な実験結果は図か表を用いて説明する。新しい測定法では，その正確度・精密度・基準範囲・感度・特異度などを記載する。
 - e. 考察は結果との重複を避け，オリジナリティを明白に示す。研究目的との関連性をも十分考察する。
 - f. 結論は簡潔なうちにも本文の内容を具体的に表現する。
8. 表現法：
 - a. 本文の中で文献を引用する場合は右肩に番号を振る。
 - b. 外国の人名は原語を用い，地名や国名は適宜とする。
 - c. 略語を使うときは，初出時に正式名を記した後に()内に記入する。関連領域では周知の略語でも乱用は避ける。

|||||



- d. 度量衡の単位は漸次 SI 単位に移行させる。差し当りは別表 2 に従い、可能なものは SI 単位を括弧内に併記する。
- 9. 文献の記載は別表 3 に従う。教科書や未発表論文の引用は避ける。学会報告の抄録は、表の例に従い、抄録であることを明示する。
- 10. 図表について：
 - a. 図表は説明を含め原則英語とする。
 - b. 挿入箇所を本文の欄外に指定する。
 - c. 内容はなるべく本文と重複をしないようにする。
 - d. 写真は白黒を原則とする。カラー写真は編集委員会の承認したものに限る。実費は著者の負担とする。
 - e. 電子顕微鏡写真にはスケールを入れる。



【別表 1】 カテゴリー

- 1. 臨床化学
 - 酵素，蛋白，含窒素成分，脂質，腫瘍マーカー，リポ蛋白，糖，無機物，ビタミン，その他
- 2. 内分泌・代謝学
 - 甲状腺，性腺，下垂体・副腎，糖尿病，栄養，その他
- 3. 免疫学・輸血学
 - 生体防御検査学，感染防御免疫，移植免疫，炎症・急性期反応物質(サイトカイン，他)，免疫検査技術(イムノアッセイ，その他の関連技術)，免疫機能検査，アレルギー関連検査，自己免疫・自己抗体検査，その他
- 4. 血液
 - 赤血球，白血球，血小板，血栓・止血関連，血管・内皮細胞関連，血液細胞抗原，造血器疾患，その他
- 5. 感染症(微生物)
 - 微生物，感受性，感染症，その他
- 6. 生理機能検査
 - 循環器，呼吸器，神経系(脳波筋電図)，超音波，その他
- 7. 病理
 - 病理組織，細胞診，電顕，その他
- 8. 遺伝子検査技術関連領域(分子生物学的領域)
 - 分子診断学，遺伝学，感染症，悪性腫瘍，遺伝性疾患，個人識別，染色体，技術，その他
- 9. 精度管理・医療情報
 - 検査診断学(医学判断学)，精度管理，基準範囲，統計，検査システム，リスクマネジメント，検査室管理運営，その他
- 10. その他
 - 再生医療，移植，POCT，予防医学，EBM/EBD

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| $10^{-3} = \text{m (mili)}$ | $10^{12} = \text{T (tera)}$ |
| $10^{-2} = \text{c (centi)}$ | $10^{15} = \text{P (peta)}$ |
| $10^{-1} = \text{d (deci)}$ | $10^{18} = \text{E (exa)}$ |
- b) 接頭語を二重に用いない。 $\mu\mu\text{g}(\gamma\gamma) \rightarrow \text{pg}$
 - c) 長さに関して $\mu \rightarrow \mu\text{m}$ ， $\text{m}\mu \rightarrow \text{nm}$ ， $\text{Å} \rightarrow 0.1\text{nm}$ (あるいは 100pm)
 - d) 容量の単位に[1]を用い， dm^3 ， cc ， mm^3 などを用いない。 $\text{dm}^3 \rightarrow \text{l}$ ， $\text{cc} \rightarrow \text{ml}$ ， $\text{mm}^3 \rightarrow \mu\text{l}$
 - e) 濃度に関して，モル濃度は $\text{M} \rightarrow \text{mol/l}$ とし，その他は mg/dl ， g/dl ， g/l などとするが，分母を[1]におきかえることが望ましい。 $7\text{g/dl} \rightarrow 70\text{g/l}$ ， $100\text{mg/dl} \rightarrow 1\text{g/l}$ ($1,000\text{mg/l}$)。原則として分母に接頭語をつけない。分子量の確定しているものは漸次モル濃度におきかえることが望ましい。
 - f) $\text{mol/min/l} \rightarrow \text{mol}/(\text{min}\cdot\text{l})$ ，または $\text{mol}\cdot\text{min}^{-1}\cdot\text{l}^{-1}$ とする。

【別表 3】 引用文献の書き方

- a) 引用文献は原則として 20 以内とし，引用した箇所の右肩に片カッコを付けて引用順にアラビア数字で番号を入れ，末尾に文献リストとして一括する。
- b) 文献リストの記述形式は，生物医学雑誌に関する統一規定(改訂第 5 版) Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals(いわゆる 'Vancouver' style) に準ずる(詳細は，医学のあゆみ 1998 ; 186 : 812-4 および 872-9, Ann Intern Med 1997 ; 126 : 36~47, あるいは関連ホームページサイトを参照のこと。)
 - <http://www.acponline.org/journals/annals/01jan97/unifreqr.htm>
 - <http://www.ama-assn.org/public/peer/wame/uniform.htm>
 雑誌名の略記は医学中央雑誌収載誌目録略名表および Index Medicus に従う。
- c) 著者が 6 名以下の場合には全員記載し，7 名以上の場合には初めの 6 名を載せ以下“その他”ないしは“et al”とする。著者のイニシャルの後にピリオドは不要である。

【別表 2】 度量衡の単位

- a) 接頭語には次のもののみを用いる。

$10^{-18} = \text{a (atto)}$	$10^1 = \text{da (deca)}$
$10^{-15} = \text{f (femto)}$	$10^2 = \text{h (hecto)}$
$10^{-12} = \text{p (pico)}$	$10^3 = \text{k (kilo)}$
$10^{-9} = \text{n (nano)}$	$10^6 = \text{M (mega)}$
$10^{-6} = \mu \text{ (micro)}$	$10^9 = \text{G (giga)}$

